

第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】及び
第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
実施報告書
（令和6年度実績）

伊奈町

目次

第1部 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】	
第1章 伊奈町環境基本計画について	2
第2章 実施状況	
基本施策(1) まちに残る貴重な緑を守り育てよう	5
基本施策(2) 里地里山環境を守ろう	5
基本施策(3) きれいな水辺を取り戻そう	6
基本施策(4) 公害のないまちにしよう	7
基本施策(5) 安全で快適なまちをつくろう	7
基本施策(6) きれいで衛生的なまちにしよう	8
基本施策(7) ごみを減らそう	8
基本施策(8) 資源を大切にしよう	9
基本施策(9) 環境のことを学ぼう・話し合おう	10
基本施策(10) 力を合わせて行動しよう	11
第2部 第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	
第1章 計画の概要	12
第2章 達成状況	13

第1部 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】

第1章 伊奈町環境基本計画について

1 計画の目的

「伊奈町環境基本条例」第3条に定められた基本理念の実現に向けて、「第2次伊奈町環境基本計画」を策定し、地球規模化・複雑化する環境問題に対応し、快適な生活を維持できるよう、地域の実情に適した施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

2 計画の対象

(1) 推進主体

町民・事業者・町の三者が一体となって計画を推進することとします。

(2) 対象地域

伊奈町全域とします。なお、広域的な取り組みが必要な問題については、国、埼玉県、近隣自治体との連携を図ります。

(3) 対象とする環境

A) 自然環境に関するもの	森林、河川、里地里山、動植物 など
B) 生活環境に関するもの	大気質、水質、有害化学物質、騒音・振動、悪臭、景観、交通、環境美化 など
C) 地球環境に関するもの	廃棄物、リサイクル、資源、再生可能エネルギー、地球温暖化対策 など
D) 環境に関する取り組み	環境保全活動、環境教育・学習、環境情報、三者（町民・事業者・町）協働 など

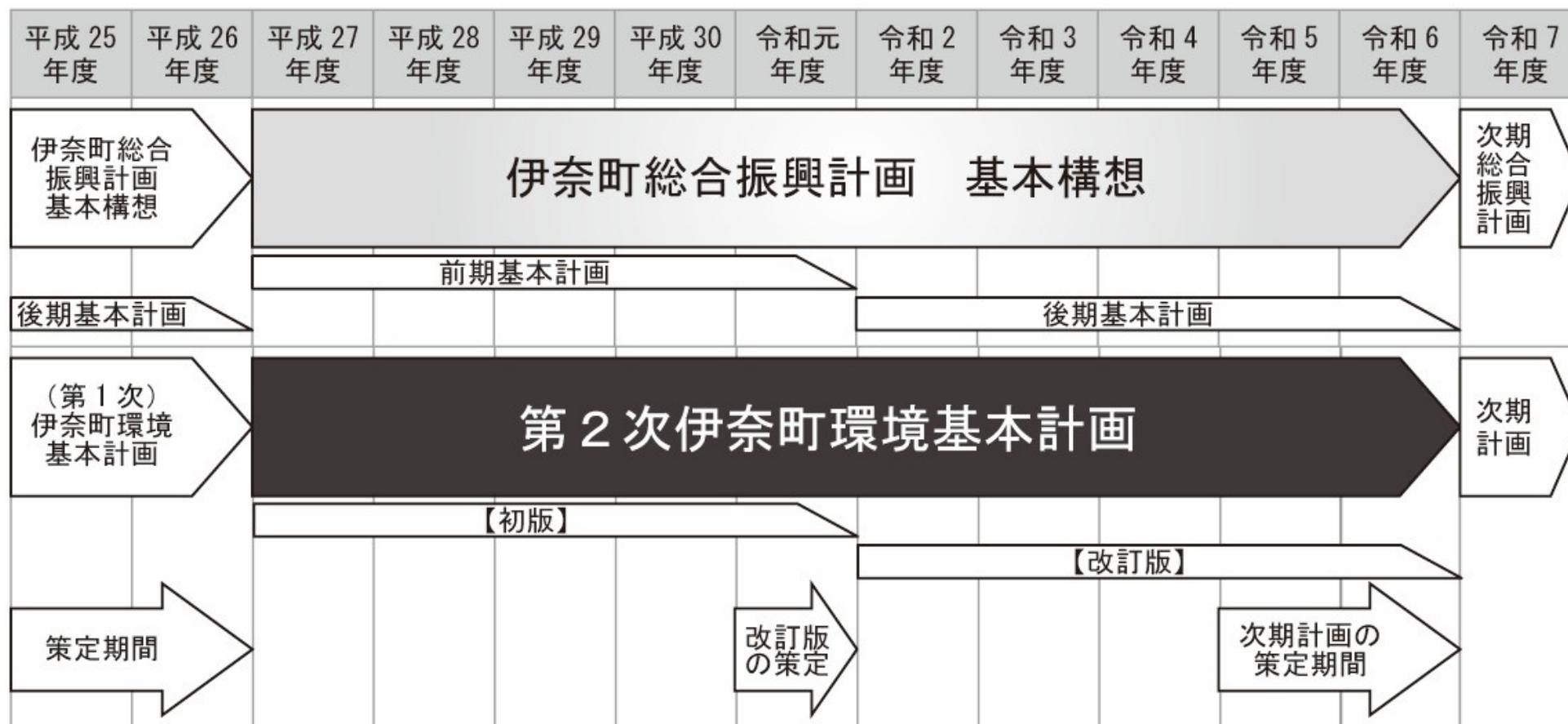
3 計画の目標期間

対象とする期間は、環境基本計画の改訂版としての令和2年度から令和6年度までの5年間としています。

生活環境や経済情勢などが大きく変化し、環境基本計画との整合性が図れなくなった場合や、進捗管理における評価結果において修正が必要と判断された場合には、適宜見直しを行います。

(令和7年3月に、次期計画となる「第3次伊奈町環境基本計画」を策定しました。)

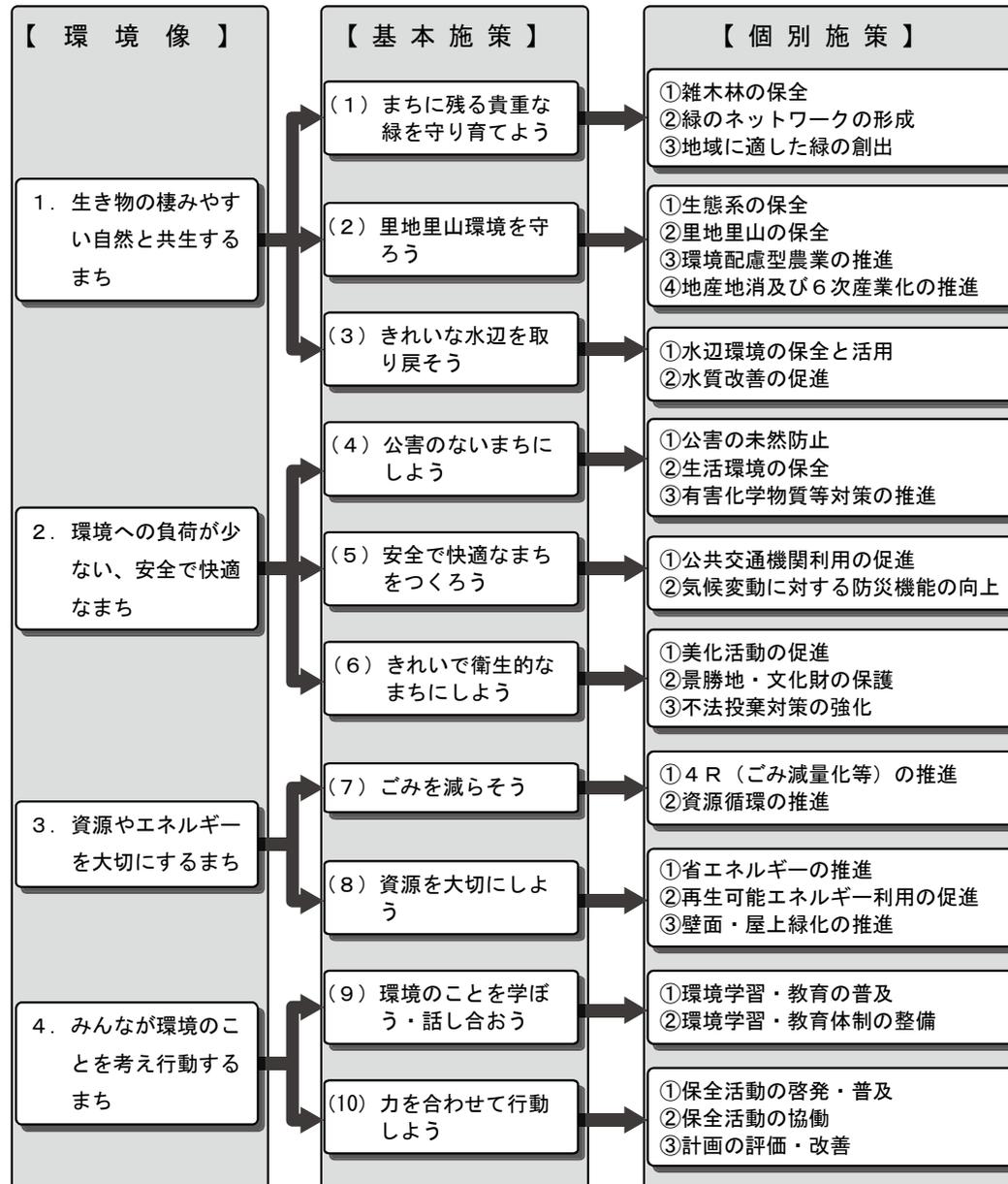
計画の期間



4 施策の体系

4つの環境像を基に、10の基本施策とそれに対応した個別施策を設定しています。

施策の体系



第2章 実施状況

基本施策（1）まちに残る貴重な緑を守り育てよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 雑木林の 保全	「緑のトラスト保全地」 ボランティア登録者数	47人	46人	45人	40人	34人	25人	50人	未達成

令和6年度の取組

- ・ボランティアの高齢化に伴い登録者数は減少傾向にありますが、（公財）さいたま緑のトラスト協会からの依頼に基づき、広報いな等に情報を掲載しました。（都市計画課）
- ・病害虫からバラやサクラを守るために消毒等の防除対策を適切に実施し、保全を行いました。（都市計画課）

今後に向けての具体的な取組

- ・（公財）さいたま緑のトラスト協会での広報と、町ホームページや広報いな等に参加者募集等の掲載をします。（都市計画課）

基本施策（2）里地里山環境を守ろう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度実 績	令和5年度実 績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
② 里地里山の保全	担い手の数	18人	18人	29人	33人	34人	34人	21人	達成
④ 地産地消及び6 次産業化の推進	学校給食における 地場産物使用割合	20.9%	25.6%	21.0%	22.9%	23.3%	16.0%	22.0%	未達成

※担い手は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農のこと。

令和6年度の取組

- ・埼玉県と連携し、担い手数の増加のための補助制度周知の取組を実施しました。（アグリ推進課）
- ・天候不順や夏の猛暑により、目標値には到達しなかったが、JA直売所と連携し、可能な範囲で地場産物を使用しました。（給食センター）

今後に向けての具体的な取組

- ・JAと連携を図り、地元野菜を積極的に活用していきます。（給食センター）

基本施策（3）きれいな水辺を取り戻そう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
②水質改善の促進	水質検査結果（BOD） 環境基準 C 類型：5mg/L 以下	2.6mg/L	2.1mg/L	2.8mg/L	2.4mg/L	3.4mg/L	4.9mg/L	3mg/L	未達成
	水質検査結果（SS） 環境基準 C 類型：50mg/L 以下	17mg/L	13mg/L	17mg/L	13mg/L	15mg/L	14mg/L	6mg/L	未達成

※BODとは「生物化学的酸素要求量」のことで、川から採水した水を密閉したガラス瓶に入れ、20℃を保ったまま5日間暗所で培養したときに、水中の有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量（溶存酸素量）のこと。

※SSとは「浮遊物質」あるいは「懸濁物質」のことで、水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量のこと。

令和6年度の取組

- ・生活排水による水質汚濁を防止するため、広報いな及び町内回覧で浄化槽の適正な維持管理を周知しました。また、町から浄化槽清掃業者へ依頼し、浄化槽清掃時に維持管理に係るリーフレットを浄化槽利用者へ配布してもらいました。（環境対策課）

今後に向けての具体的な取組

- ・公共下水道の普及を進めるとともに、公共下水道整備計画区域外での単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。また、浄化槽の維持管理を周知し、生活排水による水質汚濁の防止に努めます。（環境対策課）

基本施策（４）公害のないまちにしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和２年度 実績	令和３年度 実績	令和４年度 実績	令和５年度 実績	令和６年度 実績	令和６年度 目標	達成状 況
②生活環境の保全	公害に関する相談件数	12件	8件	5件	3件	7件	5件	10件	達成

令和６年度の取組

- ・公害苦情に対して迅速に対応し、同一事業者からの公害再発防止に努めました。（環境対策課）

今後に向けての具体的な取組

- ・法律、条令に基づき町から事業者へ対策を依頼、指導し、公害の再発防止に努めていきます。（環境対策課）

基本施策（５）安全で快適なまちをつくろう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和２年度 実績	令和３年度 実績	令和４年度 実績	令和５年度 実績	令和６年度 実績	令和６年度 目標	達成 状況
① 公共交通機関 利用の促進	ニューシャトルの 1日平均乗車人員	17,559人	13,700人	15,375人	17,236人	18,756人	19,539人	18,900人	達成
	町内循環バスの 年間利用者数	35,423人	29,547人	34,169人	41,315人	48,775人	50,655人	40,000人	達成

令和６年度の取組

- ・町ホームページ等でニューシャトルのイベントの広報活動に取り組みました。65歳以上から発行可能ないきいき長寿パスポートを提示した方には町内循環バスを無料で乗車できます。（危機管理課）

今後に向けての具体的な取組

- ・ニューシャトルは、駅利用者が快適に利用できるよう環境づくりを推進します。また、町内循環バスは、より利便性の高い公共交通を目指し、バス事業者等と協力しニーズに対応した運行体制等を検討します。（危機管理課）

基本施策（6）きれいで衛生的なまちにしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
③不法投棄対策の強化	不法投棄の件数	51件	47件	79件	72件	94件	58件	20件	未達成
	あき地の除草依頼件数	88件	73件	84件	150件	147件	146件	60件	未達成

令和6年度の取組

- ・委託業者が週に1回町内を巡回し不法投棄パトロールを実施しました。（クリーンセンター）
- ・放置されたあき地の除草依頼を土地所有者へ行いました。また、広報いなや町ホームページであき地の適正管理について啓発をし、刈り払い機の無料貸し出しについても周知しました。（環境対策課）
- ・土地所有者に適正な農地維持管理の依頼をし、除草等の対応が見受けられた。（アグリ推進課）

今後に向けての具体的な取組

- ・前年度に複数回除草依頼が寄せられたあき地については、予め町で現地確認のうえ土地所有者へ土地の適正管理を依頼します。また、火災等の危険があるあき地の所有者へは上尾市消防本部と連携して通知するなど、対応していきます。（環境対策課）
- ・適正な農地維持管理に向けて、所有者に対して改善指導を行います。（アグリ推進課）

基本施策（7）ごみを減らそう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 4R（ごみ減量化等）の推進	1人1日あたりのごみ排出量	836g/日	844g/日	821g/日	808g/日	784g/日	772g/日	800g/日	達成
	ごみの資源化率	14.8%	16.6%	17.6%	17.0%	16.5%	16.5%	17.5%	未達成

※4R：環境と経済が両立した循環型社会を目指すための取り組み。本計画で取り組む4Rには、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルが含まれる。

令和6年度の取組

- ・広報いな等に家庭ごみの減量化や分別の徹底等を掲載し、住民等に周知しました。（クリーンセンター）

今後に向けての具体的な取組

- ・今後も、広報いなや町ホームページ等を通じて、ごみの減量化等の周知を行います。（クリーンセンター）

基本施策（8）資源を大切にしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 省エネルギーの 推進	二酸化炭素排出量 (県推計)	221 千 t- CO ₂	214 千 t- CO ₂	219 千 t- CO ₂	213 千 t- CO ₂	県推計中	県推計中	171.3 千 t-CO ₂	—
② 再生可能エネル ギー利用の促進	住宅用省エネルギー 設備設置費奨励金件数	16 件	37 件	57 件	85 件	112 件	129 件	150 件	未達成

※二酸化炭素排出量（令和元年度から令和3年度）は、県推計の結果が過去に遡って見直しされたことにより、最新の公表結果に基づき排出量を修正しています。

※奨励金件数の実績は、令和元年度から令和6年度までの累計。

令和6年度の取組

- ・横瀬町との連携事業において、横瀬町町有林の間伐等によるカーボンオフセット事業及び環境教育を行い、7.6 tの二酸化炭素が吸収され、埼玉県森林 CO₂吸収量認証制度で認証されました。（環境対策課）
- ・住宅用省エネルギー設備設置費奨励金の申請は17件あり、申請件数のうち14件が蓄電池でした。（環境対策課）

今後に向けての具体的な取組

- ・省エネルギー設備設置費奨励金の申請件数を増やすため、広報いなに加えて町公式 LINE 等を用いて広く周知に努めます。また、温暖化対策に関する情報発信を積極的に行います。（環境対策課）

基本施策（9）環境のことを学ぼう・話し合おう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 環境学習・ 教育の普及	イベントの来場者数	160,487人	122人	37,300人	124,500人	152,700人	162,000人	160,000人	達成
	自然観察会などの 事業開催	1回	0回	0回	1回	1回	1回	3回	未達成

〈イベント来場者数内訳〉

イベント名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
さくらまつり	26,000人	中止	11,000人	14,000人	15,000人	20,000人
バラまつり	58,000人	中止	23,000人	49,000人	66,000人	80,000人
伊奈まつり	50,000人	中止	中止	40,000人	45,000人	38,000人
楽しいな商工フェスティバル	16,000人	中止	中止	17,000人	15,000人	14,000人
秋バラまつり	8,000人	中止	3,000人	4,000人	11,000人	9,000人
散策路イベント	172人	中止	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし
婚活イベント	15人	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし
忠次公レキシまつり	800人	122人	300人	500人	700人	1,000人
圏央道から魅力発見！1市 3町1村共同PR事業	1,500人	中止	中止	中止	中止	記録なし
トラスト保全地の自然観察 とタケノコ掘りを楽しむ	1回	中止	中止	1回	1回	1回
緑のトラスト第13号地 ふれあい・体験イベント	廃止					

※自然観察会などの事業開催には、「トラスト保全地の自然観察とタケノコ掘りを楽しむ」、「緑のトラスト第13号地ふれあい・体験イベント」の実施回数が含まれています。

令和6年度の取組

- ・散策路イベント、婚活イベント以外は例年通り開催しました。(元気まちづくり課)
- ・タケノコ掘りについては、令和6年4月14日に実施しました(都市計画課)
- ・伊奈氏屋敷跡内の公有地(二の丸跡・裏門跡等)における除草・樹木伐採を行い、見学できる環境の維持及び倒木等による遺構の損壊を予防しました。(生涯学習課)

今後に向けての具体的な取組

- ・広報いなやSNS等を用いて周知します。(元気まちづくり課)
- ・(公財)さいたま緑のトラスト協会にて、広報いな等に情報を掲載します。(都市計画課)

基本施策(10)力を合わせて行動しよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
② 保全活動の協働	環境保全活動の参加 人数	172人/年	中止	中止	83人/年	59人/年	60人/年	600人/年	未達成

〈環境保全活動参加人数内訳〉

イベント名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績
綾瀬川クリーン大作戦	中止	中止	中止	83人	59人	60人
伊奈備前守忠次公による散策路整備イベント	172人	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし

令和6年度の取組

- ・広報いな等で一般募集をした町民ボランティアとともに職員及び関係機関からの参加者で実施し、60kgのごみを収集しました。また、町文化祭で綾瀬川パネル展示を実施し、綾瀬川の環境保全・美化活動の紹介をしました。(環境対策課)

目標達成に向けての動き

- ・町民ボランティアの募集に際し、町公式LINE等も用いて周知します。(環境対策課)

第2部 第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

第1章 計画の概要

伊奈町では、地球温暖化対策の推進に関する法律及び基本方針に基づき、令和元年度に第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画では、町が行うすべての事務・事業から発生する温室効果ガスの排出を抑制するため、率先して地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。計画期間は令和2年度から令和12年度までの11年間とし、対象範囲は町庁舎をはじめとする公共施設におけるすべての事務・事業とします（指定管理事業も含む）。目標は以下のとおりです。

全公共施設における電気・燃料・水道・公用車燃料使用量及び町庁舎における用紙類使用量について、平成25年度を基準年度とし、令和12年度までに温室効果ガスの総排出量を、7.8%削減することを目標としています。

基準年度（平成25（2013）年度実績） 目標年度（令和12（2030）年度）
7, 772 t-CO₂  7, 166 t-CO₂

温室効果ガスの種類

ガスの種類	人為的な発生源	伊奈町における算定対象物質
二酸化炭素 (CO ₂)	電気の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリン等の使用により排出される。排出量が多いため、温室効果ガスの中では温室効果への寄与が最も大きい。 また、廃プラスチック類の焼却等により排出される。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン、軽油、灯油、A重油、都市ガス、LPGの使用量 ・電気使用量 ・一般廃棄物焼却量のうち廃プラスチックの焼却量
メタン (CH ₄)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、廃棄物の埋立等により排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約25倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の走行量 ・一般廃棄物の焼却量
一酸化二窒素 (N ₂ O)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却等により排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約298倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の走行量 ・一般廃棄物の焼却量
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	カーエアコンの使用・廃棄時等に排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約140～11,700倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・カーエアコン使用時の排出量（自動車保有台数）

第2章 達成状況

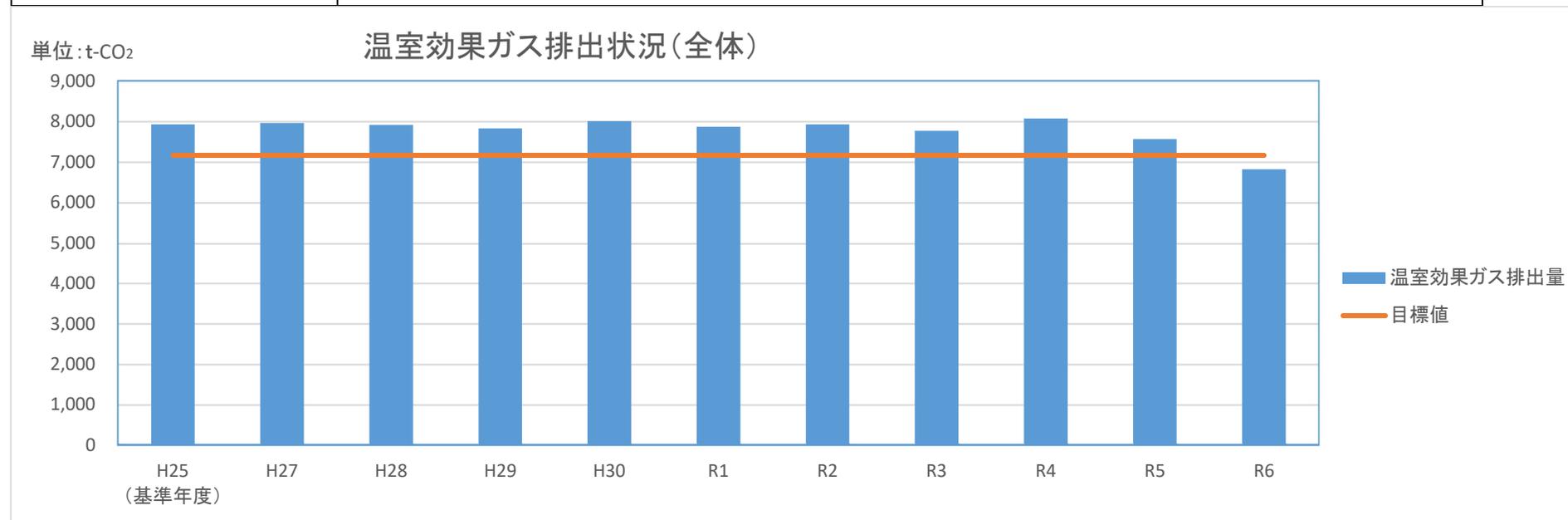
1 伊奈町の公共施設における温室効果ガス排出量

町の全公共施設における温室効果ガス排出量を「役場庁舎・各施設(クリーンセンターを除く)から排出された温室効果ガスの量」と「クリーンセンター(町全体のごみ焼却)から排出された温室効果ガスの量」に分けております。

町の全公共施設における温室効果ガスの排出量 (t-CO₂)

- ・ハイエース等の大型車は、イベント等の荷物搬送の増加に伴い公用車走行量及びガソリン使用量が増加しましたが、その他の車は、会議等のオンライン化による使用頻度が減少し、公用車走行量及びガソリン・軽油使用量が減少しました。
- ・クリーンセンターが基幹的設備改良工事を実施したことで、設備の延命化と省エネルギー化が図れたため電気使用量が減少したことや、工事により焼却炉を一ヶ月間停止したことで電気使用量及び廃棄物焼却量が減少し、温室効果ガス排出量を削減できた。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
温室効果ガス排出量の合計	7,967	7,921	7,833	8,009	7,871	7,930	7,772	8,077	7,572	6,821
目標値(令和12年度)	7,166									



役場庁舎・各施設（クリーンセンターを除く）から排出された温室効果ガスの量（t-CO₂）

前年度より雨量が増加したことにより、光ヶ丘排水機場、調整池（北部第2調整池を除く）の電気使用量が増加した一方で、北部第2調整池での浚渫工事のためポンプを6ヶ月間停止したこと等により、令和5年度と比較して全体として電気使用量は減少しました。

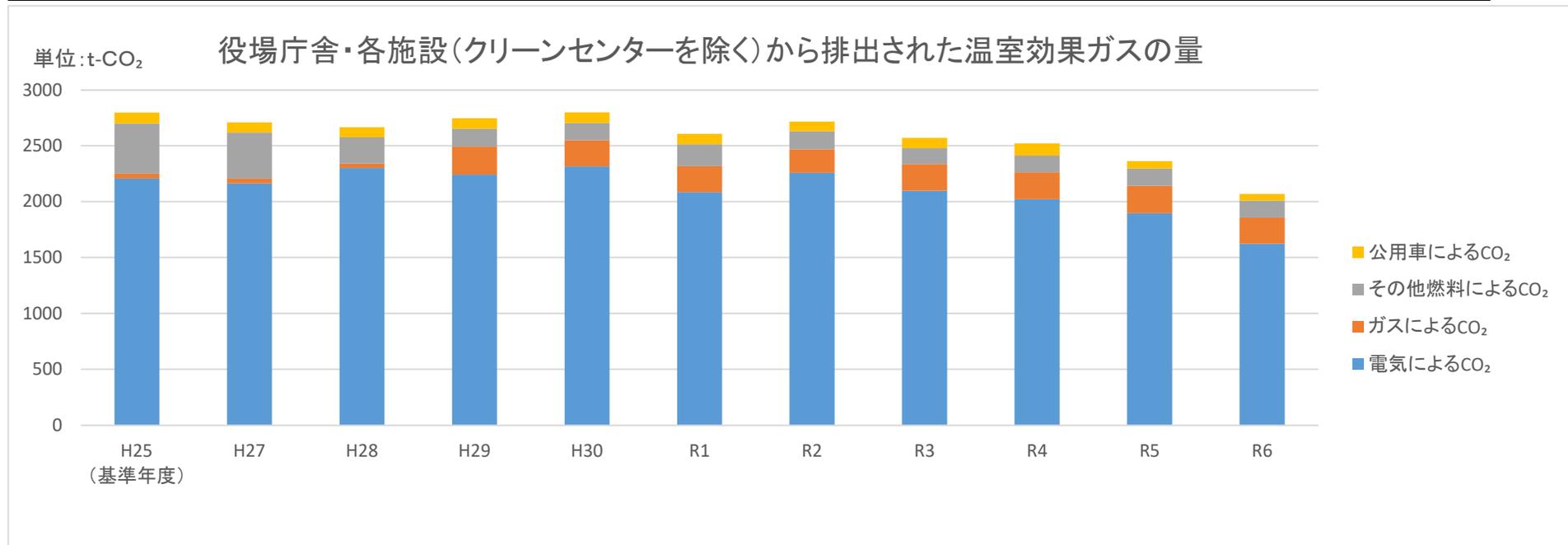
また、会議等のオンライン化により車両使用頻度が減少し、公用車関連使用量が減少しました。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
温室効果ガス排出量の合計	2,709	2,667	2,748	2,799	2,608	2,716	2,573	2,523	2,363	2,069

※合計値は小数点以下を四捨五入しております。

<内訳>

電気使用量	2,163	2,301	2,242	2,316	2,086	2,259	2,098	2,023	1,896	1,624
ガス使用量	43	40	250	235	232	211	240	241	247	234
その他燃料使用量	412	235	160	152	197	160	142	149	155	152
公用車関連使用量	89	90	95	95	93	86	93	110	66	59



クリーンセンター（町全体のごみ焼却）から排出された温室効果ガスの量（t-CO₂）

基幹的設備改良工事を実施したことで、設備の延命化と省エネルギー化が図れたため電気使用量が減少したことや、工事により焼却炉を一ヶ月間停止したことで電気使用量及び廃棄物焼却量が減少し、温室効果ガス排出量を削減できました。

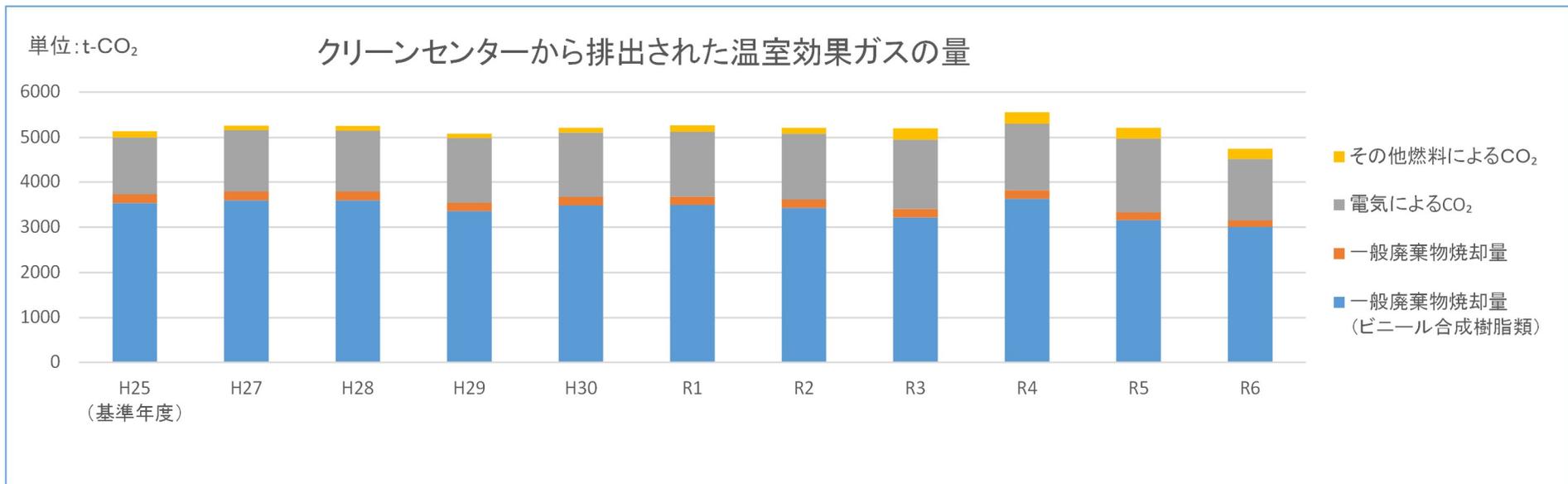
プラスチックごみに含まれるビニール合成樹脂類の一般廃棄物焼却量の割合が前年度と比較すると増えているため、分別の徹底や汚れている容器包装プラスチックについては洗浄してもらい、再資源化できる形で集積所に出してもらおうように啓発していきます。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
温室効果ガス排出量の合計	5,257	5,254	5,084	5,210	5,263	5,214	5,199	5,554	5,209	4,752

※合計値は小数点以下を四捨五入しております。

<内訳>

一般廃棄物焼却量 （ビニール合成樹脂類）	3,590	3,590	3,359	3,478	3,489	3,425	3,212	3,625	3,155	3,006
一般廃棄物焼却量	195	195	183	189	186	182	193	191	170	145
電気使用量	1,375	1,361	1,444	1,440	1,447	1,476	1,544	1,485	1,649	1,377
その他燃料使用量	97	108	98	103	141	130	249	252	235	224



2 伊奈町役場における温室効果ガス排出抑制の意識付けについて

伊奈町役場職員による温室効果ガス排出抑制における毎年度の意識調査の結果です。

各項目を「0点：実行していない」、「1点：時々実行している」、「3点：常に実行している」で点数付けを行っています。

「電気使用量の削減」や「公用車燃料使用量の削減」の点数が低いため、今後も職員の温室効果ガス排出抑制に対する意識付けを進めてまいります。

水使用量の削減意識は満点で、年間を通して「常に実行している」と回答がありました。引き続き、職員の省エネルギー行動の徹底を呼び掛けていきます。

◎伊奈町役場における温室効果ガス排出抑制について

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
電気使用量の削減	2.1	2.1	1.9	2.0	1.8	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
公用車燃料使用量の削減	1.9	2.0	1.9	1.9	1.7	1.6	1.7	1.8	1.9	1.9

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
用紙類の削減	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
水使用量の削減	2.9	2.9	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
廃棄物の発生抑制	2.1	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.1	2.2	2.1	2.1